



## ストーブによる火災の注意喚起



### ○ストーブの周囲は常に整理整頓

布団・衣類・雑誌などの可燃物がストーブの近くに置いてあると、ちょっとしたはずみでストーブに接触し出火する恐れがあります。また、ストーブの近くにスプレー缶を置いておくと、缶が破裂し、漏れたガスに引火します。

### ○寝るとき、その場を離れるときは火を消す習慣をつける

寝返りなどで布団がストーブに接触して火災になるケースが多くあります。寝るときやその場を離れるときは、火を消す習慣をつけましょう。

### ○洗濯物をストーブで乾かさない

ストーブの上や近くで洗濯物を乾かすと、ストーブに接触して火災になる恐れがあるので絶対にやめましょう。

### ○使用しないときは電源プラグをコンセントから抜いておく

電気ストーブは、何かの拍子に誤ってスイッチが入ってしまい、近くに可燃物があると出火する恐れがあります。

### ○異常を感じたら使用を中止する

ストーブ本体の異常から出火し火災になるケースも発生しています。使用中に異常を感じた場合は直ちに使用を中止し、メーカーや販売店などに相談しましょう。また、日頃からストーブ本体や電源コードに異常がないかを点検してから使用するようにしましょう。



## 雪害に対する備え



地震や台風と同じように、大雪による災害も近年多くなってきています。みなさんが雪に対する十分な理解と認識を持ち、雪害に強いまちづくりを進めていきましょう。

### ○自分や家族に必要な物を考える

持病など薬が必要な場合は、あらかじめ処方してもらったり、赤ちゃん用のおむつやミルク、生理用品など日常生活でなくなると困るものを考え備蓄しておきましょう。

### ○水・食糧・電池

食糧や電池を備蓄しておきましょう。気温の低下により水道管が凍結する恐れがあります。日頃から飲料水を備蓄し、降雪前に水道管の凍結対策やお風呂に水を溜めるなど生活用水の準備をしましょう。

### ○防寒対策

普段使わない暖房器具は、事故防止の観点からも、故障などがなく利用可能か試しておきましょう。使い捨てカイロや燃料(灯油など)の準備もしておきましょう。



## 年末年始地域安全運動

12月10日(月)～平成31年1月4日(金)

～ゆく年くる年 みんなで守ろう 地域の安全～

この運動は、年末年始における犯罪・事故の未然防止を図るため、地域のみなさんや自治体・防犯協会などの関係機関と警察が連携して地域安全活動を推進し、だれもが安全で平穏な新年を迎えていただくために実施するものです。

この時期は、金融機関・コンビニ店などを狙った強盗・窃盗事件や交通事故の多発が心配されます。

垂井警察署では「年末年始特別警戒」を実施し、重点的にパトロールを行います。

